

# 家庭・地域と協働して 子どもの豊かな学びを創造するために



「見直そう！家庭と学校協働プロジェクト」では、子どもたちの課題の解決に向け、学校・家庭・地域が協働して取り組む上で、そのプロセスを、  
①課題の明確化、②課題の共有、③方策の具体化、④効果の検証として、各プロセスにおける中心的な協議を実行委員会で行って来ました。

## ① 課題を明確にするために

ア 教員アンケートの実施や、PTA役員、学校評議員等への意見聴取をする。

イ 実行委員会で「知・徳・体」等の観点から育てたい子どもの姿を明らかにする。

ウ 優先的に取り組むべき課題を焦点化し、その課題について、学校・家庭・地域の取組の重点を明確にする。  
(モデル校の例)

課題：子どもの基本的生活習慣の定着を図る

- ・ 学校の重点……授業における学習習慣・学習規律の定着
- ・ 家庭の重点……子どもの身辺自立とともに家庭でのコミュニケーションの促進
- ・ 地域の重点……学校の教育活動への協力促進

知

体

徳

## ④ 効果を検証するために

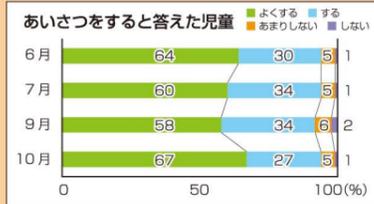
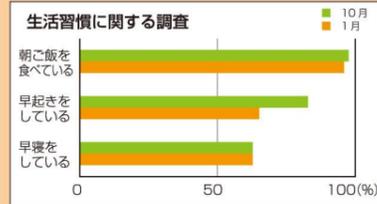
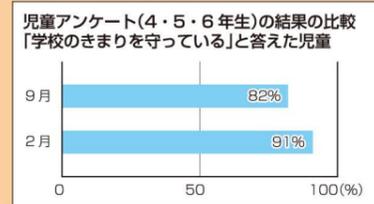
ア できるだけ具体的に数値化できる評価項目や評価指標を設定する。

- ・ 全国学力・学習状況調査などの全国的な調査結果の積極的な活用
- ・ 学校独自のアンケート調査の実施

イ さらに課題を明らかにするとともに、改善策を検討する。

ウ 優先的に取り組むべき課題を焦点化する。

(モデル校の例)



実行委員会

## ② 課題を共有するために

ア 明確にした課題と併せ、学校・家庭・地域の取組の重点を発信する。  
・ 学校通信やPTA通信の発行、PTA総会等での学校長からの説明  
・ 自治会の掲示板や回覧板の活用

イ 取り組むべき課題を、子どもに関わる全ての大人が共有する。

ウ 地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図る。



## ③ 課題解決のための方策を具体化するために

ア 学校で行う取組や家庭で行う取組、地域に協力を求める取組などを効果的に組み合わせる。  
・ 学校での学習活動を家庭でのコミュニケーションに生かす  
・ 家庭・地域の人々の協力による活動により、学習意欲を高める  
・ 地域での活動を振り返り、その体験を授業に生かす

イ 実行委員会で協議し、課題解決に向けた方策を具体化する。

ウ 家庭や地域社会に周知し、積極的に推進・協力を求める。

(モデル校の例)

- ・ 社会性の向上を目指した「地域フェスティバル」の開催 …… 奈良市立飛鳥小学校
- ・ 規範意識の向上を目指した「あいさつ運動」の取組 …… 宇陀市立榛原西小学校
- ・ 体力の向上を目指した「外遊びチャレンジ」の取組 …… 斑鳩町立斑鳩小学校
- ・ 生活習慣の向上を目指した「ノーテレビ・家読(うちどく)」の取組 …… 広陵町立広陵東小学校
- ・ 学力の向上を目指した「言語活動の活性化」の取組 …… 大淀町立大淀希望ヶ丘小学校



## 実行委員会の広がり求めて



### 学校支援地域本部、 通学合宿等の取組の実施主体として

家庭や地域への協力を求める取組や、地域等が実施主体となる取組等の実施に向け、実行委員会組織を積極的に活用する。

### 学校関係者評価実施のための 評価委員会の母体として

自己評価の客観性を担保できる学校関係者評価にするため、実行委員会組織の実情に応じて、さらに必要な委員(学識経験者等)を加えて評価委員会を組織する。

### 学校を中心とした地域コミュニティ 活性化の発信基地として

放課後等の空き教室を活用したサークル活動、学校のニーズに応じたボランティア活動など、学校を中心とした地域住民の活動の場づくりを地域に発信し、地域コミュニティの活性化を図る。

